

LaON GENIE System 簡易取扱説明書

LaON Technology GENIE System



● はじめに

ワイヤレスインターカムは子機（ベルトパック）を親機（ベースステーション）に登録設定済みです。
グループ1～5を切替えて同じグループに設定された機器同士で通信することができます。

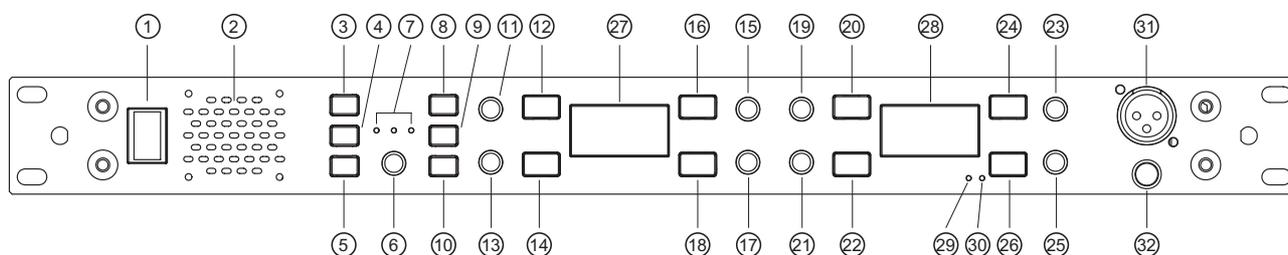
ベルトパックのディスプレイに表示されるグループ番号をご確認ください。

ディスプレイが消灯している場合は、「TALK」と「PWR」以外のいずれかのボタンを押すと表示されます。

• BS1000

• 各部の説明

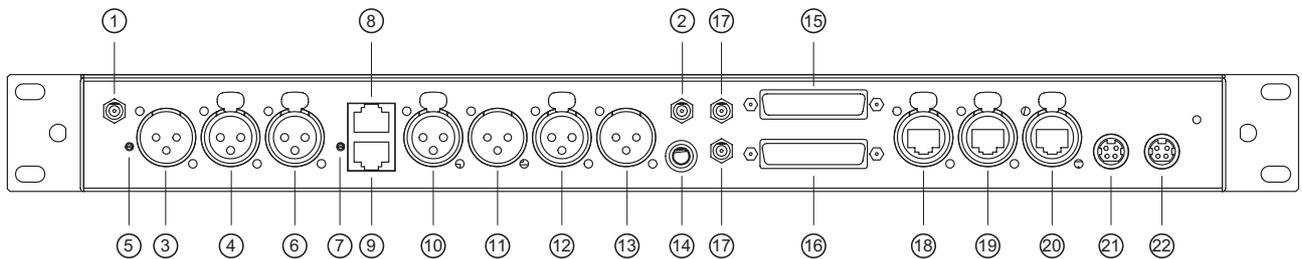
フロントパネル



1. 電源スイッチ
2. スピーカー
ヘッドセットを接続するとスピーカーは自動的にオフになります。
3. マイクオン/オフボタン
ベースステーションに接続されたグースネックマイク/ヘッドセットマイクのオン/オフを切り替えます。各チャンネルのトークキーを押すとマイクは自動的にオンになり、マイクオン/オフボタンは赤色に変化します。
4. スピーカーオン/オフボタン
ベースステーションのスピーカーオン/オフを切り替えます。
5. メニューボタン
6. マスターボリュームノブ
7. Dim, Cut, Sidetone LED
8. RMK (リモートマイクキル) ボタン
9. SA (ステージアナウンス) ボタン
SA コネクタの出力オン/オフを切り替えます。SA ボタンをオンにするとベースステーションに接続されているヘッドセットまたはグースネックマイクの音声はSA コネクタから出力されます。
10. TTA (トークトゥオール) ボタン
ベースステーションに設定されている全てのトークキーをオンにします。
11. CH1 ボリュームノブ
12. CH1 トークキー
13. CH2 ボリュームノブ
14. CH2 トークキー
15. CH3 ボリュームノブ
16. CH3 トークキー
17. CH4 ボリュームノブ
18. CH4 トークキー
19. CH5 ボリュームノブ
20. CH5 トークキー

21. CH6 ボリュームノブ
22. CH6 トークキー
23. CH7 ボリュームノブ
24. CH7 トークキー
25. CH8 ボリュームノブ
26. CH8 トークキー
27. ディスプレイ 1
28. ディスプレイ 2
29. LINK/ACTIVE LED
リモートアンテナと接続したときに点灯します。
30. ACTIVE LED
リモートアンテナからデータを受信しているときに点滅します。
31. グースネックマイクコネクタ
32. ヘッドセットコネクタ

リアパネル



1. アンテナ (RX) コネクタ
2. アンテナ (TX/RX) コネクタ
付属の専用アンテナを接続します。
3. 2WIRE (LINE A) オスコネクタ
4. 2WIRE (LINE A) メスコネクタ
5. 2WIRE (LINE A) null 調整ポット
6. 2WIRE (LINE B) コネクタ
7. 2WIRE (LINE B) null 調整ポット
8. 4WIRE (LINE A) コネクタ
9. 4WIRE (LINE B) コネクタ
10. 4WIRE (LINE C) IN コネクタ
11. 4WIRE (LINE C) OUT コネクタ
12. AUX (LINE D) IN コネクタ
13. AUX (LINE D) OUT コネクタ

14. SA（ステージアナウンス）コネクタ
 15. PC PROG コネクタ
 16. RELAY/OPTO コネクタ
 17. Multi-Sync コネクタ
 18. LINE1 コネクタ
 19. LINE2 コネクタ
 20. POE IN コネクタ
 21. DC インพุットコネクタ
 22. DC インพุットコネクタ
- AC アダプタを接続します。

- ネットワークスイッチ、PC の接続について

ネットワークスイッチ、PC は必ず POE IN コネクタに接続してください。

LINE1/LINE2 に接続すると機器が破損する恐れがあります。

また、ネットワークスイッチは GENIE 機器より先に電源を入れてください。

- 電源の入れ方/切り方

フロントパネルの電源スイッチを操作してください。電源を入れるとディスプレイ 1 に “DFS detecting” と表示され、60 秒間周波数スキャンを行います。



スキャンが終わるとディスプレイ 1 とディスプレイ 2 にノーマルメニューが表示されます

- ボタン、キー、ノブの操作について

ベースステーションのボタン、キーの操作には次の 2 つを使用します。

- タップ

ボタンを押してすぐに離します。

- ホールド

ボタンを押し続けます。

ノブの操作には次の 3 つを使用します。

- タップ

ノブを押してすぐに離します。

- ホールド

ノブを押し続けます。

- 回す

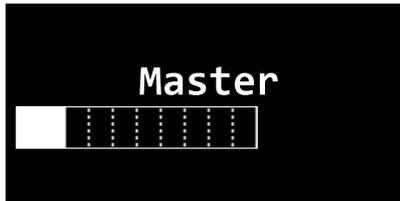
ノブを時計回り/反時計回りに回します。

• ボリューム操作

リッスンボリュームの操作

各トークチャンネルのリッスンボリュームを設定するときは、ノーマルメニューで各チャンネルのボリュームノブを回してください。リッスンボリュームは 10 段階で設定できます。

各トークチャンネルのボリューム差を保ったまま全てのボリュームを変更するときは、マスターボリュームノブを回してください。ディスプレイ 1 にマスターボリュームメニューが表示され、10 段階で設定することができます。



ノーマルメニューに戻るときはマスターボリュームノブをタップしてください。

また、ノーマルメニューでマスターボリュームノブをタップすると、トークしているときのリッスンボリュームを以下の中から選択することができます。

Dim

いずれかのチャンネルでトークすると、トークしていないチャンネルのリッスンボリュームが 6dB 減衰します。Dim に設定されると Dim LED が点灯します。

Cut

いずれかのチャンネルでトークすると、トークしていないチャンネルのリッスンボリュームがミュートされます。Cut に設定されると Cut LED が点灯します。

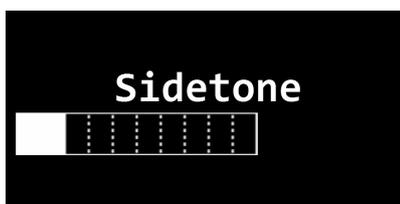
Off

いずれかのチャンネルでトークを行っても、各チャンネルのリッスンボリュームはノーマルメニューで設定した値から変化しません。

サイドトーンボリュームの操作

ディスプレイにノーマルメニューが表示されている状態でマスターボリュームノブを 2 秒以上ホールドしてから離すとディスプレイ 1 にサイドトーンメニューが表示されます。

サイドトーンメニュー表示中は SIDE LED が点灯します。



サイドトーンメニューではマスターボリュームノブを操作することによりサイドトーンボリュームを設定することができます。ノーマルメニューに戻るときはマスターボリュームノブをタップしてください。

• トークキーのLED表示

緑色で点灯

トークキーに設定されたトークチャンネルが有効になっています。

緑色で点滅

リッスンしています。点滅を始めるボリュームは VOXL Level（11 ページ参照）で設定します。

赤色で点灯:

トークしています。

赤色で点滅（一定間隔）

トークキーに設定されたグループでコール操作が行われました。

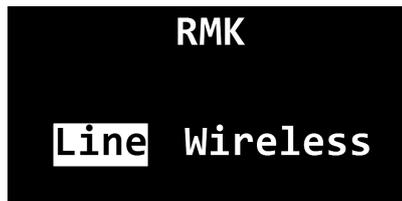
赤色の点滅はトークキーをタップするまで継続されます。

消灯

VOX Level（11 ページ参照）を超える音量でリッスンしているか、トークチャンネルが設定されていません。

トークチャンネルが設定されていないトークキーはノーマルメニューで“Not Set”と表示されます。

• RMK（リモートマイクキル）



ベースステーションに接続されているベルトパックのトークボタンをオフにします。

RMK ボタンをタップすると RMK メニューが表示されます。下記の項目にカーソルを合わせて選択すると、ベースステーションに接続されている機器のトークキーがオフになります。

RMK 実行後は自動的にノーマルメニューが表示されます。

Line

有線ベルトパック、スピーカーステーションのトークキーをオフにします。

Wireless

ワイヤレスベルトパックのトークキーをオフにします。

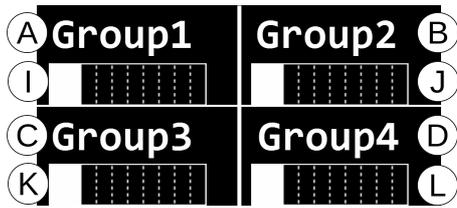
• コール操作

トークグループへコールするときには、コールしたいトークグループが割り当てられたトークチャンネルのボリュームノブを 1 秒以上ホールドします。

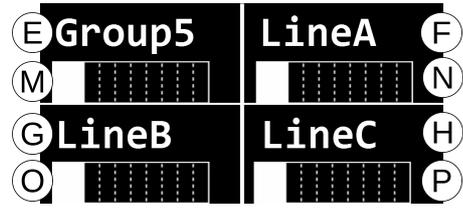
コール中はコールを行っているトークチャンネルのトークキーが赤色で点滅します。

• ノーマルメニュー

ディスプレイ 1



ディスプレイ 2



- Ⓐ ~ Ⓗ トークチャンネル/LINE ラベル
- Ⓘ ~ Ⓟ トークチャンネル/LINE リッスンレベル

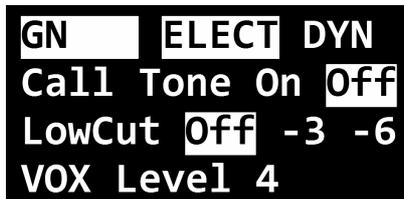
ベースステーションはスクリーンセーブメニュー（12 ページ参照）で設定した時間内に操作、またはコールされないときスリープモードに入ります。

フロントパネルのいずれかのボタンまたはノブを操作することでスリープが解除されます。

• メインメニュー

ノーマルメニューで MENU ボタンをタップするとディスプレイ 1 にメインメニュー、ディスプレイ 2 にベースステーションの情報が表示されます。

ディスプレイ 1



ディスプレイ 2



- Ⓐ ベースステーションのラベルを表示します。
- Ⓑ ベースステーション本体のアンテナ ON/OFF を表示します。
- Ⓒ ベースステーションのモデル名を表示します。
- Ⓓ GCM（設定用アプリケーション）でペアリングした日付を表示します。
- Ⓔ ベースステーションの動作モードを表示します。
- Ⓕ ベースステーションのファームウェアバージョンを表示します。

各メニューのカーソルは CH2 ボリュームノブを時計回りに回すと下にスクロール、反時計回りに回すと上にスクロールします。

選択中のカーソルは白地に黒文字で表示されます。

各メニュー内の項目にカーソルを合わせた状態で CH1 ボリュームノブを回すと値を変更できます。

設定した値を決定するときは CH2 ボリュームノブを回して次の項目にカーソルを移動させてください。

各項目の画面で MENU ボタンまたは CH2 ボリュームノブをタップするとメインメニューに戻ります。

メインメニューで MENU ボタンをタップするとノーマルメニューに戻ります。

- **MENU ボタンの操作ロック**

ノーマルメニューでMENU ボタンを3秒以上ホールドすると、ディスプレイ1に“LOCKED”と表示され、MENU ボタンの操作をロックすることができます。



MENU ボタンの操作ロックを解除するときは、再びMENU ボタンを3秒以上ホールドします。ロックが解除されると、ディスプレイ1に“UNLOCKED”と表示されます。



• メニュー構成

ディスプレイ1

Group1	Group2
Group3	Group4

Normal menu

ディスプレイ2

Group5	LineA
LineB	LineC

Set Gains
Pair Belt
Set Base
Reset Belt Label
Reset Belt Group

Main menu

SSLABEL D210225
BS1: BS_1000
BS2: NotPaired
ISS800 V1100

GN Mic	
HS Mic	
SA	
A In	

AP001	12345	☎
AP002	12345	☎
AP003	12345	☎
AP004	12345	☎

Pair Belt

GN	ELECT	DYN
Call Tone On	Off	
LowCut	Off	-3 -6
VOX Level	4	

Reset Belt Label
No Yes

Reset Belt Label

Reset Belt Group
No Yes

Reset Belt Group

A Out	
B In	
B Out	
C In	

Latched Talk
1 2 3 4 5 6 7 8
Sidetone Option
Track Non-Track

C Out	
D In	
D Out	

Set Gains

A	4Wire	2Wire
B	4Wire	2Wire
Screen Save	030	

RF-TX	On	Off
Indoor-RF	On	Off
Multi-BS	MST	SLV
Redundant	0	

LineA	G12345
LineB	G12345
LineC	G12345
LineD	G12345

OPT01	T12345678
OPT02	T12345678

T1	G12345	ABCDRr
T2	G12345	ABCDRr
T3	G12345	ABCDRr
T4	G12345	ABCDRr

T5	G12345	ABCDRr
T6	G12345	ABCDRr
T7	G12345	ABCDRr
T8	G12345	ABCDRr

G1 Label	Group1
G2 Label	Group2
G3 Label	Group3
G4 Label	Group4

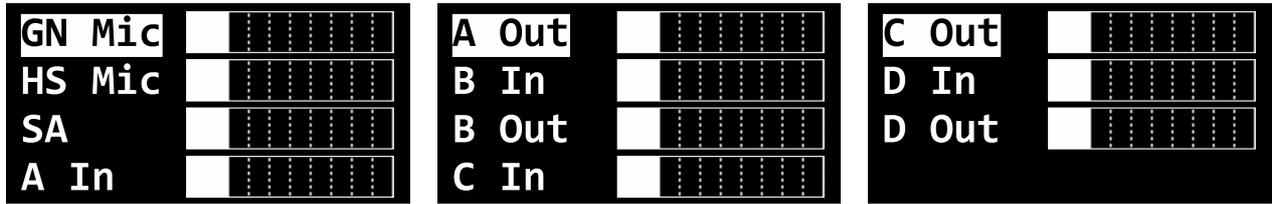
G5 Label	Group5
R1 Label	R1
R2 Label	R2
A Label	Line1

B Label	LineB
C Label	LineC
D Label	LineD

Set Base

• Set Gains (セットゲイン)

ベースステーションに接続されている機器の各種ボリュームを調整します。



GN Mic

グースネックマイクの入カボリューム

HS Mic

ヘッドセットのマイク入カボリューム

SA

SA 出力ボリューム

A In

LINE A 入カボリューム

A Out

LINE A 出力ボリューム

B In

LINE B 入カボリューム

B Out

LINE B 出力ボリューム

C In

LINE C 入カボリューム

C Out

LINE C 出力ボリューム

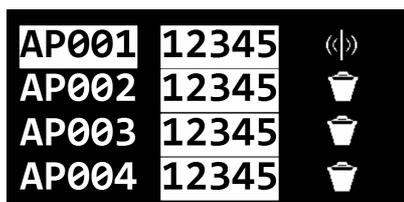
D In

LINE D 入カボリューム

D Out

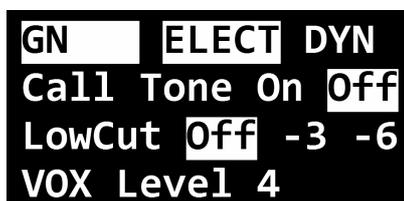
LINE D 出力ボリューム

• Pair Belt (ペアベルト)



ワイヤレスベルトパックに割り当ててるラベルと通信グループの設定及びペアリングを行います。
詳しくは別紙「GENIE ワイヤレスインターカムシステム ペアリング説明書」をご確認ください。

• Set Base (セットベース)



ベースステーションの各種設定を行います。

GN

グースネックマイクコネクタに接続するマイクの種類を設定します。エレクトレットコンデンサーマイクを接続するときは “ELECT”、ダイナミックマイクを接続するときは “DYN” を選択してください。

Call Tone

コールトーンのオン/オフを設定します。“Off” に設定するとコールされたときのコールトーンはオフになります。

Low Cut

グースネックマイク/ヘッドセットマイクのローカット（ハイパスフィルター）を設定します。

VOX Level

リッスンしているときにトークキーが点滅を始めるレベルを設定します。

トークチャンネルのリッスンボリュームが VOX Level より高いとき、トークキーが緑色で点滅します。ベースステーションに接続されているイーサネットベルトパック IBP10 にも同じ設定が適用されます。



Latched Talk

各チャンネルのトークキーの動作を設定します。

Latched Talk メニューの設定にかかわらずトークキーは押している間だけトーク状態が維持されます（プッシュ・トゥ・トーク）。

オン（白地に黒文字）に設定すると、トークキーをタップすることによりトーク状態をロックすることができます（ハンズフリーモード）。トークキーをもう一度タップするとロックが解除されます。

Sidetone Option

サイドトーンのアプションを設定します。

Track

サイドトーンはマスターボリュームに追従して変化します。

Non-Track

サイドトーンはマスターボリュームの設定にかかわらず、サイドトーンメニューで設定した値に固定されます。



A, B

LINE A および LINE B に接続する LINE のタイプを 2Wire 又は 4Wire から選択します

Screen Save

スクリーンセーブモードに入るまでの時間を 10 分～900 分の範囲（10 分単位）で設定します。

RF-TX	On	Off
Indoor-RF	On	Off
Multi-BS	MST	SLV
Redundant	0	

RF-TX

ベースステーション本体のアンテナの動作を設定します。

“Off” に設定するとベースステーション本体のアンテナは動作しません。

ベルトパックのペアリングを行う際は“On”に設定してください。

Indoor-RF

ベースステーション起動時に、選択される周波数の範囲を設定します。

屋外で使用する場合は必ず“Off”に設定してください。

設定を変更した後にメインメニューへ戻るとベースステーションは自動的に再起動します。

Multi-BS

マルチベースステーションモード時に設定します。通常は変更しないでください。

ベースステーションが1台のシステムでは“MST”に設定してください。

Redundant

イーサネットシンクモード時に設定します。通常は変更しないでください。

ベースステーションが1台のシステムでは“0”に設定してください。

LineA	G12345
LineB	G12345
LineC	G12345
LineD	G12345

ベースステーションに接続された機器 LINE A~D の通信グループを設定します。

各 LINE に割り当てられているトークグループ (G1~5) は白いブロックで表示されます。

OPT01	T12345678
OPT02	T12345678

OPT0 入力を連動させるトークキーを設定します。

OPT01、OPT02 に連動されているトークキーは白いブロックで表示されます。

T1	G1	2345	ABCD	Rr
T2	G1	2345	ABCD	Rr
T3	G1	2345	ABCD	Rr
T4	G1	2345	ABCD	Rr
T5	G1	2345	ABCD	Rr
T6	G1	2345	ABCD	Rr
T7	G1	2345	ABCD	Rr
T8	G1	2345	ABCD	Rr

各トークキーに割り当てるグループ、LINE、リレー端子を設定します。
割り当てられたトークグループは白いブロックで表示されます。

G1	Label	Group1	G5	Label	Group5	B	Label	LineB
G2	Label	Group2	R1	Label	R1	C	Label	LineC
G3	Label	Group3	R2	Label	R2	D	Label	LineD
G4	Label	Group4	A	Label	Line1			

GCM（設定用アプリケーション）で設定した GENIE グループチャンネル、リレー、LINE のラベルが表示されます。

- Reset Belt Label（リセットベルトラベル）



全てのワイヤレスベルトパックのラベルを初期化します。

リセット実行後はベルトパックを再度ペアリングすることが必要となります。リセットを行う際は注意してください。

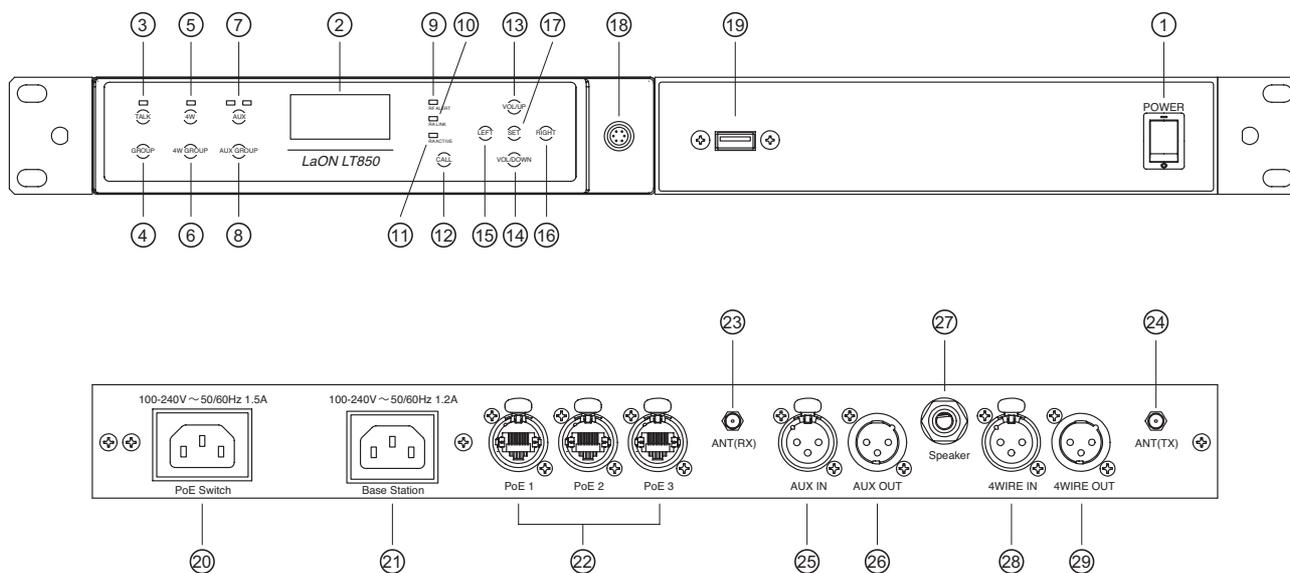
- Reset Belt Group（リセットベルトグループ）



全てのワイヤレスベルトパックの通信グループ設定を初期化します。

リセット実行後はベルトパックを再度ペアリングすることが必要となります。リセットを行う際は注意してください。

• BS850-CK



• 各部の説明

フロントパネル

1. 電源スイッチ
2. ディスプレイ
3. TALK ボタン
ヘッドセットコネクタ 18 に接続されたヘッドセットでトークするときに使用します。
ボタン上部の LED は、リスンのみの状態では Vox Level (24 ページ参照) で設定したボリュームにあわせて点滅し、トーク中は点灯します。
4. TALK GROUP ボタン
ベースステーションに接続されたヘッドセットでトークする通信グループを変更します。
5. 4W ボタン
4W に接続された機器との通信 ON/OFF を切り替えます。
6. 4W GROUP ボタン
4W に接続された機器の通信グループを変更します。
7. AUX ボタン
AUX に接続された機器との通信 ON/OFF を切り替えます。
8. AUX GROUP ボタン
AUX に接続された機器の通信グループを変更します。
9. RF ALERT
電波状況が悪く音声の途切れが多く発生しているときに点灯します。
10. RA LINK
リモートアンテナが接続されているときに点灯します。
11. RA ACTIVE
リモートアンテナとベースステーションがデータ通信を行っているときに点灯します。

12. CALL ボタン
選択されているグループにコールします。
13. VOL/UP ボタン
14. VOL/DOWN ボタン
メインメニューの項目を選択するときに使用します。
ノーマルメニューではヘッドセットのリッスンボリュームを操作できます。
15. LEFT ボタン
16. RIGHT ボタン
メインメニューの項目を選択するときに使用します。
17. SET ボタン
選択された項目を決定するときに使用します。
ノーマルメニューで操作するとメインメニューに切り替わります。
18. ヘッドセットコネクタ
ヘッドセットを接続します。
19. USB コネクタ
PC から設定を変更する際に使用します。

リアパネル

20. PoE Switch AC インレット
21. Base Station AC インレット
22. PoE1~3 コネクタ
23. アンテナ (RX) コネクタ
24. アンテナ (TX/RX) コネクタ
付属の専用アンテナを接続します。
25. AUX IN コネクタ
26. AUX OUT コネクタ
27. SPEAKER OUT コネクタ
28. 4WIRE IN コネクタ
29. 4WIRE OUT コネクタ

- **電源の入れ方/切り方**

フロントパネルの電源スイッチを操作してください。電源を入れるとディスプレイに“DFS detecting”と表示され、60 秒間周波数スキャンを行います。



スキャン中は TALK ボタン上部の LED が点滅します。スキャンが終わるとノーマルメニューが表示されます。

- **ボタン操作について**

ベースステーションのボタン操作には次の2つを使用します。

- タップ**

- ボタンを押してすぐに離します。

- ホールド**

- ボタンを押し続けます。

- **トークモードの変更**

ベースステーションの TALK ボタンの動作は次の2つから選択することができます。

- HF (ハンズフリー) モード**

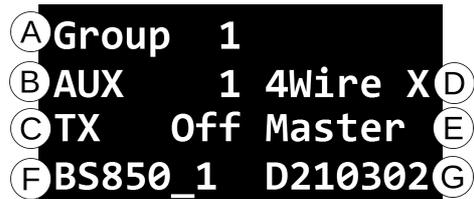
- TALK ボタンをタップするとトーク状態が維持されます。

- 解除するときはもう一度タップします。

- PTT (プッシュ・トゥ・トーク) モード**

- TALK ボタンをホールドしている間のみトーク状態が維持されます。

• ノーマルメニュー



A Group 1
B AUX 1 4Wire X D
C TX Off Master E
F BS850_1 D210302 G

- Ⓐ ベースステーションに接続されたヘッドセットの通信グループを表示します。
- Ⓑ AUX に接続された機器の通信グループを表示します。
- Ⓒ ベースステーション本体のアンテナ ON/OFF を表示します。
- Ⓓ 4Wire に接続された機器の通信グループを表示します。
- Ⓔ ベースステーションの動作モードを表示します。
- Ⓕ ベースステーションのラベルを表示します。
- Ⓖ GCM（設定用アプリケーション）でペアリングした日付を表示します。

ベースステーションはスクリーンセーブメニュー（22 ページ参照）で設定した時間内に操作、またはコールされないとスリープモードに入ります。

フロントパネルのいずれかのボタンを操作することでスリープが解除されます。

• 通信グループの変更

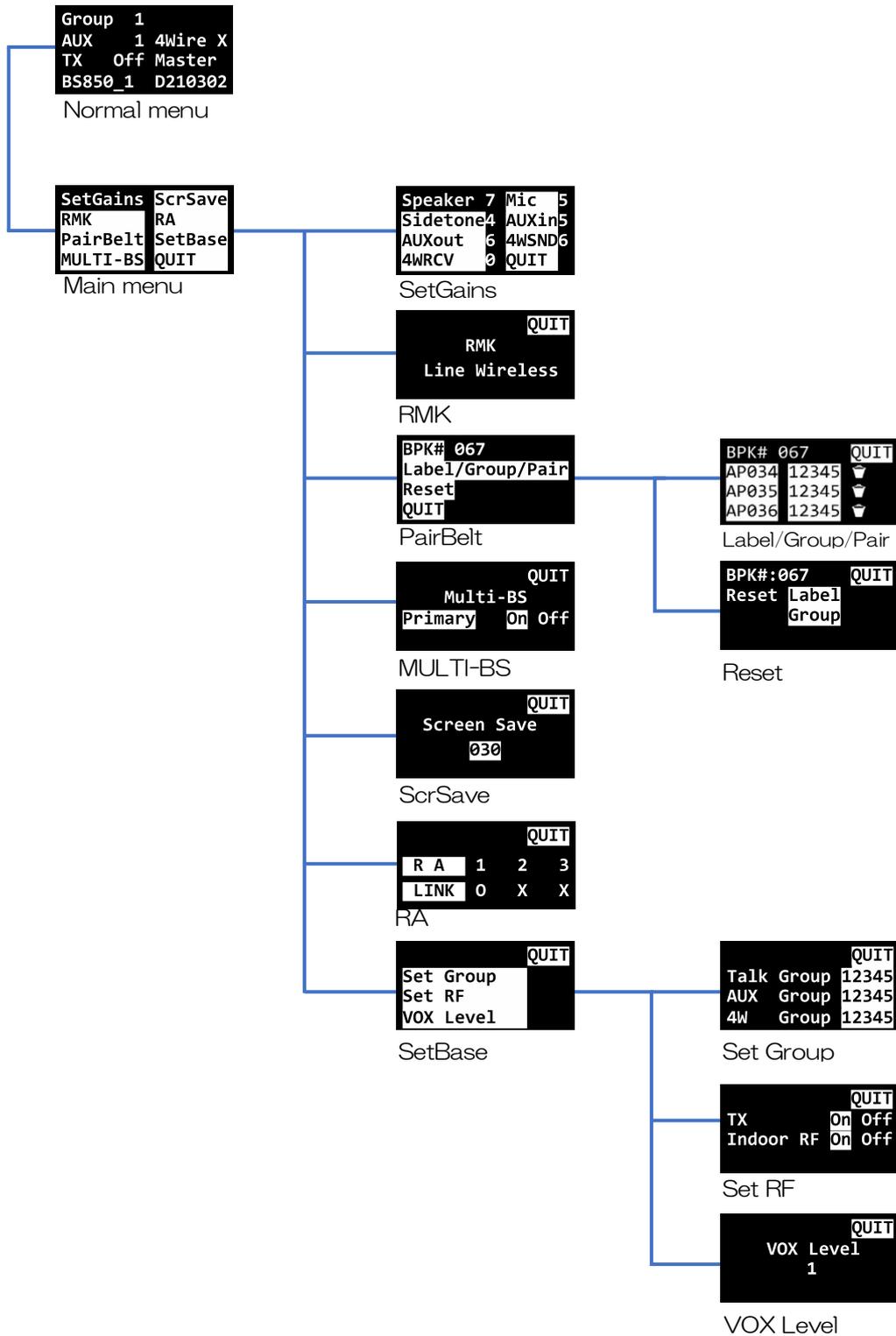
ベースステーションに接続されたヘッドセットで通信するグループを変更するときは GROUP ボタンをタップします。

AUX、4Wire に接続された機器の通信グループを変更するときは AUX GROUP、4W GROUP ボタンを使用します。

ディスプレイに表示されるグループ“A”（ALL）は全てのグループと通信を行っていることを表します。

• メインメニュー

ノーマルメニューでSET ボタンをタップするとメインメニューが表示されます。
 各メニューで“QUIT”を選択しSET ボタンをタップすると一つ前の画面に戻ります。
 メニュー構成は以下の通りです。



• SetGains (セットゲイン)

Speaker	7	Mic	5
Sidetone	4	AUXin	5
AUXout	6	4WSND	6
4WRCV	0	QUIT	

ベースステーションに接続されている機器の各種ボリュームを設定します。

項目にカーソルを合わせて SET ボタンをタップすると UP/DOWN ボタンで値 (0~9) を変更できます。

変更した値を決定するときは再度 SET ボタンをタップします。

Speaker

ヘッドセットのリッスンボリューム

Mic

ヘッドセットのマイクボリューム

Sidetone

ヘッドセットのサイドトーンボリューム

AUXin

AUX IN ボリューム

AUXout

AUX OUT ボリューム

4WSND

4W OUT ボリューム

4Win

4W IN ボリューム

• RMK (リモートマイクキル)



項目にカーソルを合わせて SET ボタンをタップすると、ベースステーションに接続されている機器のトークキーがオフになります。

RMK 実行後は自動的にノーマルメニューが表示されます。

Line

有線ベルトパック、スピーカーステーションのトークキーをオフにします。

Wireless

ワイヤレスベルトパックのトークキーをオフにします。

• PairBelt (ペアベルト)



ワイヤレスベルトパックに関する設定を行います。

Label/Group/Pair (ラベル/グループ/ペア)



ベルトパックに割り当てるラベルと通信グループの設定及びペアリングを行います。
詳しくは別紙「GENIE ワイヤレスインターカムシステム ペアリング説明書」をご確認ください。

Reset (リセット)



ベルトパックのラベル、通信グループの設定を初期化します。
リセットを行いたい項目でSET ボタンをタップすると“YES NO”と表示され、YES にカーソルを合わせてSET ボタンをタップするとリセットが実行されます。

Label

全てのベルトパックのラベルを初期化します。

Group

全てのベルトパックの通信グループを初期化します。

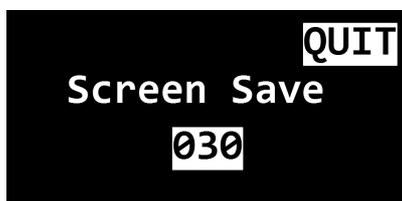
いずれのリセットも、実行後はベルトパックを再度ペアリングすることが必要となります。リセットを行う際は注意してください。

- Multi-BS (マルチ BS)



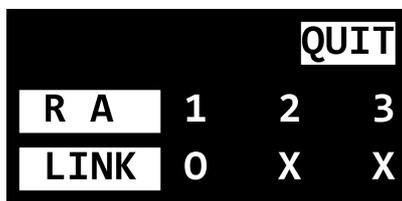
ベースステーションを複数台接続して使用するときに操作します。通常は Primary を “On” に設定してください。

- ScrSave (スクリーンセーブ)



スクリーンセーブモードに入るまでの時間を 10 分～900 分の範囲（10 分単位）で設定します。

- RA (リモートアンテナ)



リモートアンテナの接続状態を表示します。

“0” は接続済み、“X” は未接続を表します。

• SetBase (セットベース)



ベースステーションの各種設定を行います。

Set Group



ベースステーションに接続された機器が通信するグループを設定します。変更したいグループにカーソルを合わせて SET ボタンをタップするとオン/オフが切り替わります。

Talk Group

ベースステーションに接続されたヘッドセットでトークする通信グループを設定します。

AUX Group

AUX に接続された機器の通信グループを設定します。

4W Group

4 WIRE に接続された機器の通信グループを設定します。

Set RF



TX

ベースステーション本体のアンテナの動作を設定します。

“Off” に設定するとベースステーション本体のアンテナは動作しません。

ベルトパックのペアリングを行う際は“On”に設定してください。

Indoor-RF

ベースステーション起動時に、選択される周波数の範囲を設定します。

屋外で使用する場合は必ず“Off”に設定してください。

設定の変更を行うとベースステーションは自動的に再起動します。

VOX Level



リッスンしているときに TALK ボタン上部の LED が点滅を始めるレベルを設定します。ノーマルメニューで選択しているトークグループのリッスンボリュームが VOX Level より高いとき、LED が緑色で点滅します。ベースステーションに接続されているイーサネットベルトパック IBP10 のトークキーの LED にも同じ設定が適用されます。

• 外部機器との接続

AUX、4Wire機器との接続にはリアパネルのXLRコネクタを使用します。接続した機器のレベルは VOLUMEメニューで設定します。

AUX

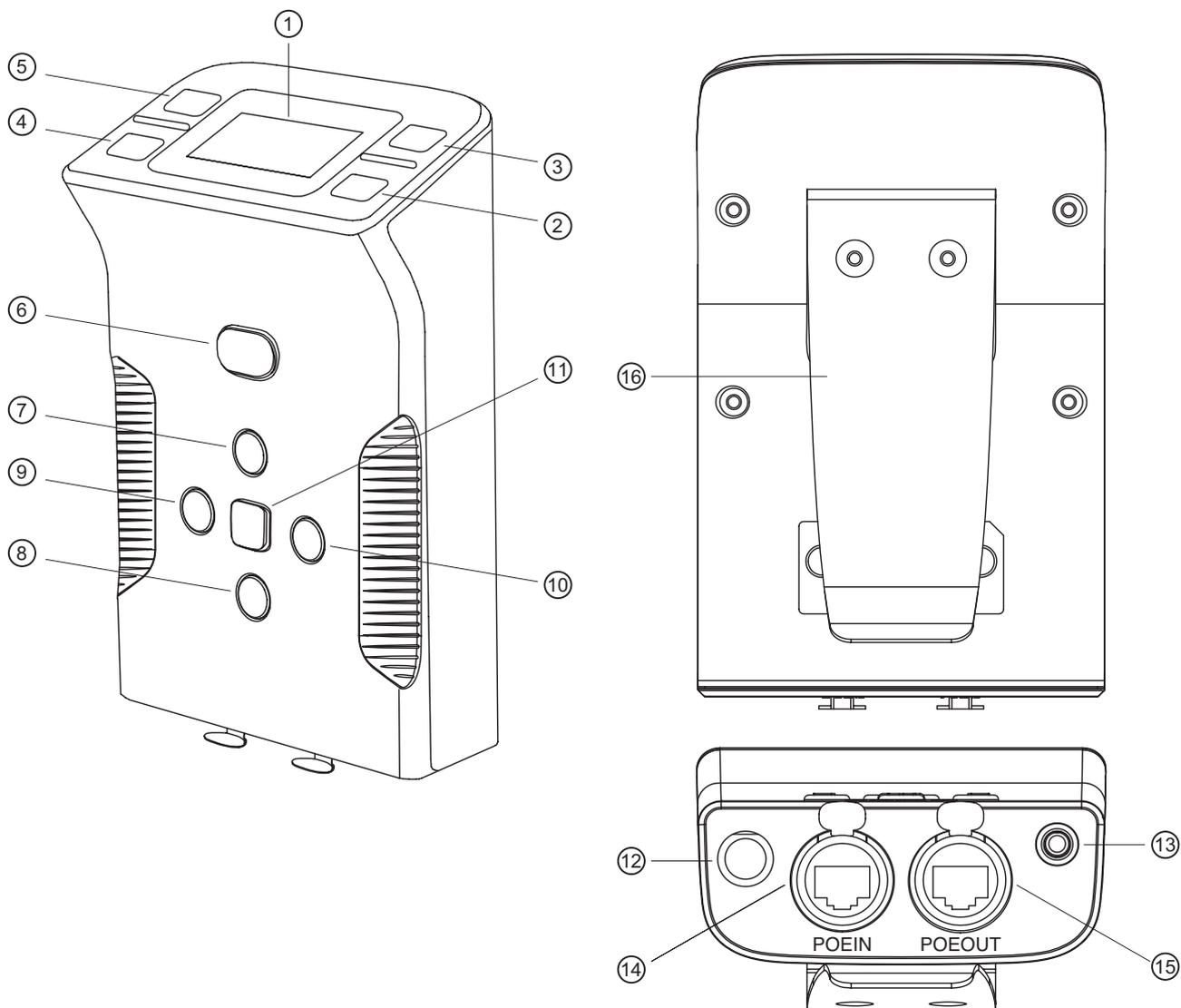
ON/OFFはフロントパネルのAUXボタンを使用します。ボタンをタップするとAUX IN→AUX IN/OUT→AUX OFF の順に切り替わります。通信に使用するグループを変更する際はAUX Group ボタンを使用します。

4Wire

ON/OFFはフロントパネルの4Wボタンを使用します。通信に使用するグループを変更する際は4W GROUPボタンを使用します。

• IBP10

• 各部の説明



1. ディスプレイ

2. CH1 トークキー

3. CH2 トークキー

4. CH3 トークキー

5. CH4 トークキー

トークをするときに使用します。また、各トークチャンネルの状態をLEDで表します。

6. CALL ボタン

コールをするときに使用します。

CALL ボタンをタップすると、トーク中のトークチャンネル及びCALL ボタンをタップしてから5秒以内にトークされるトークチャンネルにコールします。

7. UP ボタン

8. DOWN ボタン

各種設定に使用します。

ノーマルメニューではリッスンボリュームのマスターボリュームを設定できます。

3 秒以上ホールドするとトークチャンネル 1~4 が表示されるページ 1 と、トークチャンネル 5~8 が表示されるページ 2 が切り替わります。

9. LEFT ボタン

10. RIGHT ボタン

各種設定に使用します。

11. SET ボタン

各種設定に使用します。

12. ヘッドセットコネクタ

ヘッドセットを接続します。

13. TRS コネクタ

CITA 規格 3.5mm のイヤホンまたはヘッドセットを接続します。

ピンアサインは以下のとおりです。

T	Left
R	Right
R	Ground
S	Mic

14. PoE IN コネクタ

15. PoE OUT コネクタ

IBP10 をデジチェーン接続する際に使用します。

ネットワークスイッチと IBP10 を接続する際は、必ず PoE IN コネクタを使用してください。

16. ベルトクリップ

• ボタン操作について

ベースステーションのボタン、キー操作には次の2つを使用します。

タップ

ボタンを押してすぐに離します。

ホールド

ボタンを押し続けます。

• トークキーのLED表示

赤色で点灯

トークしています。

緑色で点灯

ページ 1 で設定されたトークチャンネルが有効になっています。

緑色で点滅

ページ 1 で設定されたトークチャンネルでリッスンしています。

点滅を始めるレベルは接続しているベースステーションの VOX Level メニューで設定します。

オレンジ色で点灯

ページ 2 で設定されたトークチャンネルが有効になっています。

オレンジ色で点滅

ページ 2 で設定されたトークチャンネルでリッスンしています。

点滅を始めるレベルは接続しているベースステーションの VOX Level メニューで設定します。

赤色で点滅（一定間隔）

トークキーに設定されたグループでコール操作が行われました。

赤色の点滅はトークキーをタップするまで継続されます。

消灯

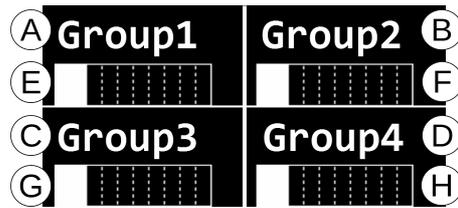
ベースステーションで設定された VOX Level を超えてリッスンしているか、トークチャンネルが設定されていません。

トークチャンネルが設定されていないトークキーはノーマルメニューで“Not Set”と表示されます。

• ページ 1/2 の切り替え

ノーマルメニュー及びトークキーのトークチャンネル1～4と5～8を切り替えるときは、ノーマルメニューが表示されている状態で UP ボタンまたは DOWN ボタンを 3 秒以上ホールドします。

• ノーマルメニュー



- ① A ~ ④ D トークチャンネルラベル
- ① E ~ ④ H トークチャンネル リッスンボリューム

イーサネットベルトパックは「Screen Save メニュー（31 ページ参照）」で設定した時間内に操作、またはコールされないとスリープモードに入ります。
いずれかのボタンを操作することでスリープが解除されます。

• リッスンボリュームの操作

リッスンボリュームを操作するときは、ディスプレイにノーマルメニューが表示されている状態で UP/DOWN ボタンをタップします。Master Volume メニューが表示され、各トークチャンネルのボリューム差を保ったまま全体のボリュームを設定できます。



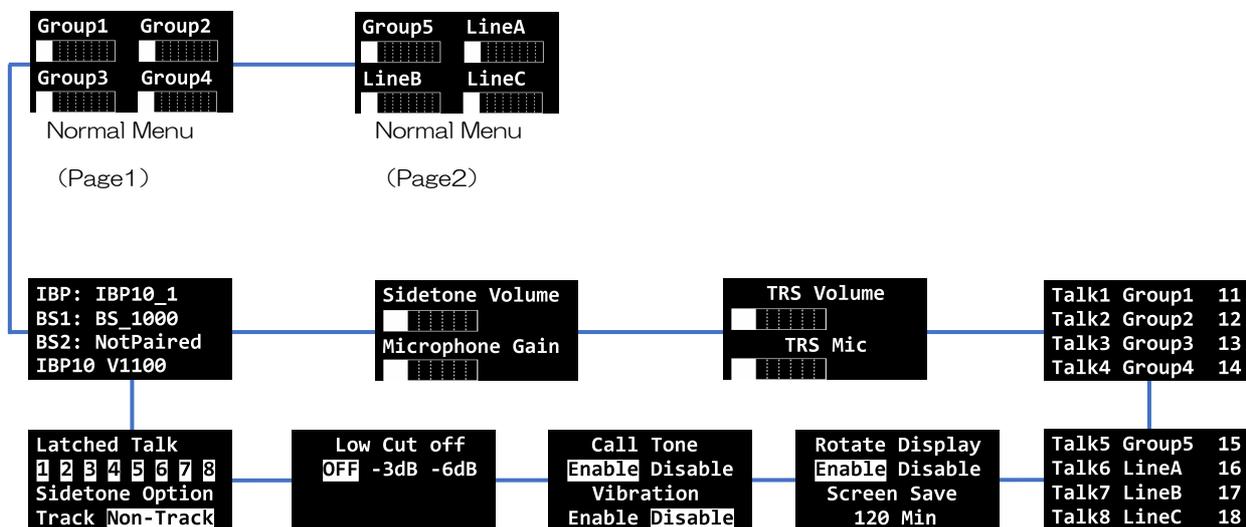
各チャンネルのリッスンボリュームを個別に設定するときは、ディスプレイにノーマルメニューが表示されている状態で LEFT/RIGHT ボタンをタップし、設定したいトークチャンネルのラベルが選択された状態で UP/DOWN ボタンをタップします。

• メインメニューの操作

ノーマルメニューでSET ボタンをタップするとメインメニューが表示されます。

SET ボタンを押すとノーマルメニューに戻ります。

メインメニューの構成は以下の通りです。



① IBP: IBP10_1
 ② BS1: BS_1000
 ③ BS2: NotPaired
 ④ IBP10 V1100

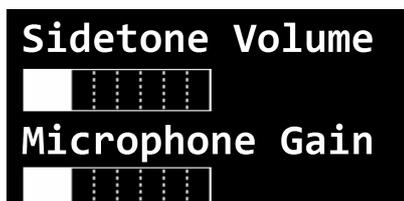
- ① ベルトパックのラベルを表示します。
- ② ペアリング先のベースステーション1、2のラベルを表示します。通常はBS1のみ表示されます。
- ③ ベルトパックのモデル名、ファームウェアバージョンを表示します。

• MENU ボタンの操作ロック

ノーマルメニューでMENU ボタンを3秒以上ホールドすると、ディスプレイに“LOCKED”と表示され、MENU ボタンの操作をロックすることができます。



MENU ボタンの操作ロックを解除するときは、再びMENU ボタンを3秒以上ホールドします。ロックが解除されると、ディスプレイに“UNLOCKED”と表示されます。

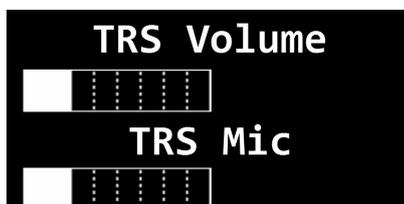


Sidetone Volume (サイドトーンボリューム)

サイドトーンのボリュームを8段階で設定します。

Microphone Gain (マイクゲイン)

ヘッドセットマイクのゲインを8段階で設定します。



TRS Volume (TRS ボリューム)

TRS イヤホンのリスンボリュームを8段階で設定します。

TRS (TRS マイクゲイン)

TRS マイクのマイクゲインを8段階で設定します。

Talk1	Label	11	Talk5	NA
Talk2	Label	12	Talk6	NA
Talk3	Label	13	Talk7	NA
Talk4	Label	14	Talk8	NA

各トークキーに割り当てられている GENIE グループチャンネルのラベルが表示されます。

Rotate Display
Enable Disable
Screen Save
120 Min

Rotate Display (ローテートディスプレイ)

ディスプレイのローテート (回転表示) 設定を行います。

“Enable” に設定すると画面が上下 180° 回転して表示されます。

Screen Save (スクリーンセーブ)

スクリーンセーブモードに入るまでの時間を 10 分~900 分の範囲 (10 分単位) で設定します。

Call Tone
Enable Disable
Vibration
Enable **Disable**

Call Tone (コールトーン)

コールトーンのオン/オフ設定を行います。“Disable” に設定するとコールされたときのコールトーンはオフになります。

Vibration (バイブレーション)

バイブレーション (振動機能) のオン/オフ設定を行います。“Disable” に設定するとコールされたときのバイブレーションはオフになります。

Low Cut off
OFF -3dB -6dB

Low Cut off (ローカットオフ)

ヘッドセットマイク・TRSマイクのローカット (ハイパスフィルター) を設定します。

Latched Talk
1 2 3 4 5 6 7 8
Sidetone Option
Track **Non-Track**

Latched Talk (ラッチドトーク)

各チャンネルのトークキーの動作を設定します。

Latched Talk メニューの設定にかかわらずトークキーは押している間だけトーク状態が維持されます (プッシュ・トゥ・トーク)。

オン (白地に黒文字) に設定すると、トークキーをタップすることによりトーク状態をロックすることができます (ハンズフリーモード)。トークキーをもう一度タップするとロック解除されます。

Sidetone Option (サイドトーンオプション)

サイドトーンのオプションを設定します。

Track

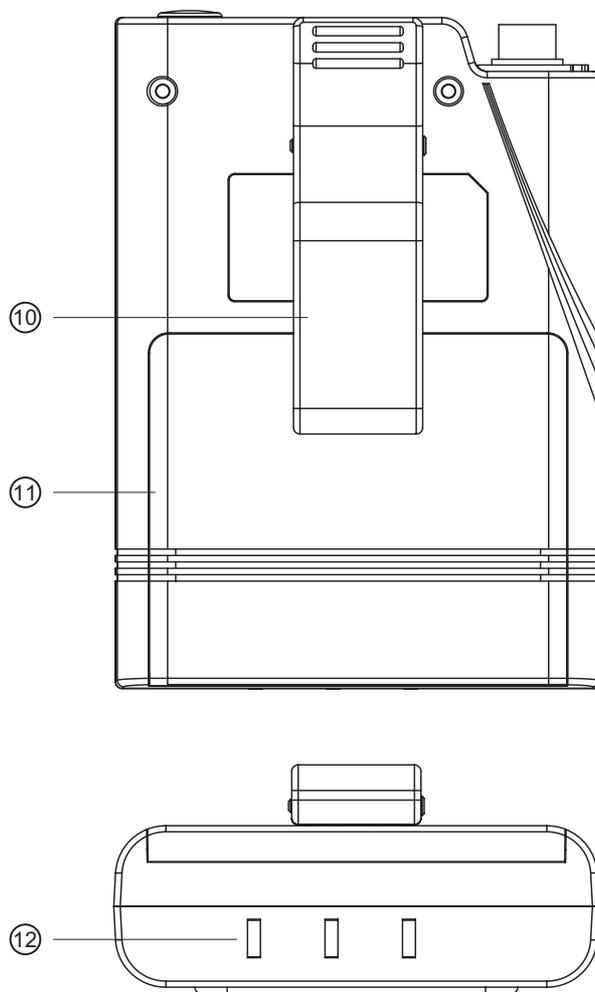
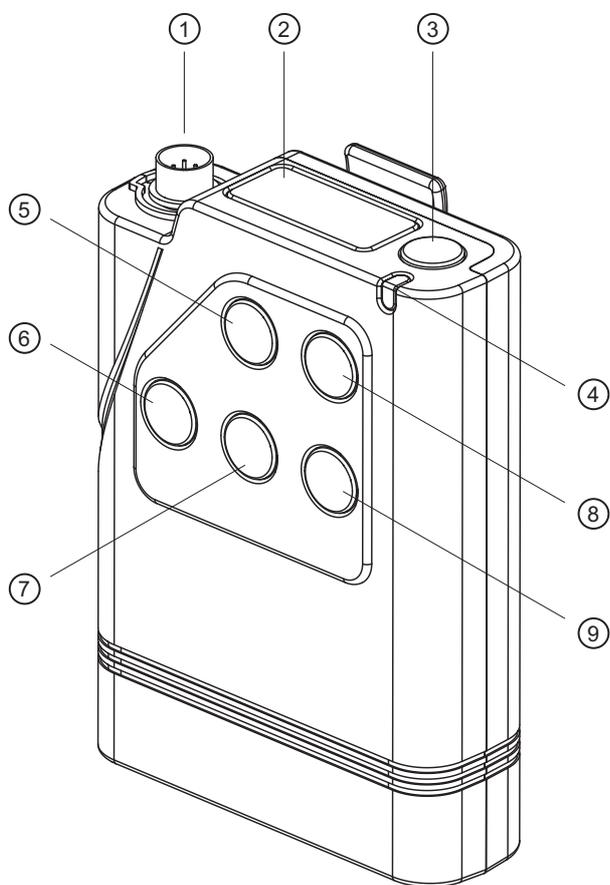
サイドトーンはマスターボリュームに追従して変化します。

Non-track

サイドトーンはマスターボリュームの設定にかかわらず、サイドトーンメニューで設定した値に固定されます。

• BP850 の操作

• 各部の説明



1. ヘッドセットコネクタ
ヘッドセットを接続します。
2. ディスプレイ
3. TALK (トーク) ボタン
トークをするときに使用します。
4. LED
ベルトパックの動作状況を表します。(35ページ ベルトパックのLED表示参照)
5. GRP (グループ) ボタン
通信グループを変更するときに使用します。
6. PWR (パワー) ボタン
電源の入切、操作ロックをするときに使用します。

7. SET（セット）ボタン
各種設定に使用します。
8. △（アップ）ボタン
9. ▽（ダウン）ボタン
各種設定に使用します。
ノーマルメニューではヘッドセットのリッスンボリュームを操作できます。
10. ベルトクリップ
11. バッテリーカバー
12. 充電端子（ベルトパック底面）

• ボタン操作について

ベルトパックのボタン操作には次の2つを使用します。

タップ

ボタンを押してすぐに離します。

ホールド

ボタンを押し続けます。

• 電源の入れ方

PWRボタンを3秒間以上ホールドすると電源が入り、LEDが赤く点滅します。このときヘッドセットが接続されている場合は“Power on”という音声メッセージが流れます。

電波を受信し通話が可能になるとLEDが緑色に変わり、ゆっくり点滅します。

• 電源の切り方

PWRボタンを2秒ほどホールドすると電源が切れ、LEDが消灯します。ヘッドセットが接続されている場合は“Power off”と音声メッセージが流れます。

• アンテナへの接続

ベルトパックの電源を入れると最も強い電波のアンテナと自動的に通信を行います。

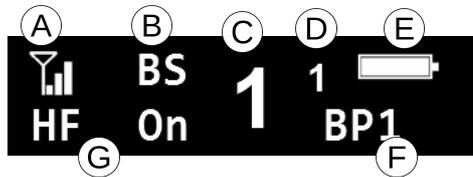
接続するアンテナを手動で切り替えるときは、切り替え先のカバーエリア内でPWRボタンを続けて2回タップします。

• リッスンボリュームの設定

△▽ボタンをタップするとヘッドセットのリッスンボリュームを設定できます。

・ノーマルメニューのディスプレイ表示

電源を入れるとディスプレイに下記のようなノーマルメニューが表示されます。



- (A) 受信している電波の強さを表示します。
- (B) 接続しているアンテナを表示します。接続しているアンテナがベースステーションのときは“BS”と表示され、リモートアンテナのときは“A_”、リピーターのときは“R_”と表示されます。マスターベルトパックに接続されたときは“MB”と表示されます。



- (C) 選択されている通信グループを表示します。
- (D) Select BS で選択されているベースステーション番号を表示します
- (E) バッテリー残量を表示します。
- (F) ベルトパックのラベルを表示します。ベルトパックの操作がロックされているときは“LOCK”と表示されます。
- (G) Hands Freeで設定されている操作モードを表示します。ハンズフリーモードがオンのときは“HF On”、オフのときは“HF Off”と表示されます。

しばらく操作を行わないとディスプレイはスリープモードに入り消灯します。復帰させるときは「TALK」または「PWR」以外のいずれかのボタンをタップしてください。

・ベルトパックのLED表示

緑色で点滅

選択されたグループでリッスンのみを行っています。

緑色で点灯

選択されたグループにトークしています。

赤色で点滅

ベースステーションやリモートアンテナ、リピーターのカバーエリア外です。

もしくはベースステーションとまだペアリングが行われていません。

赤色で点灯

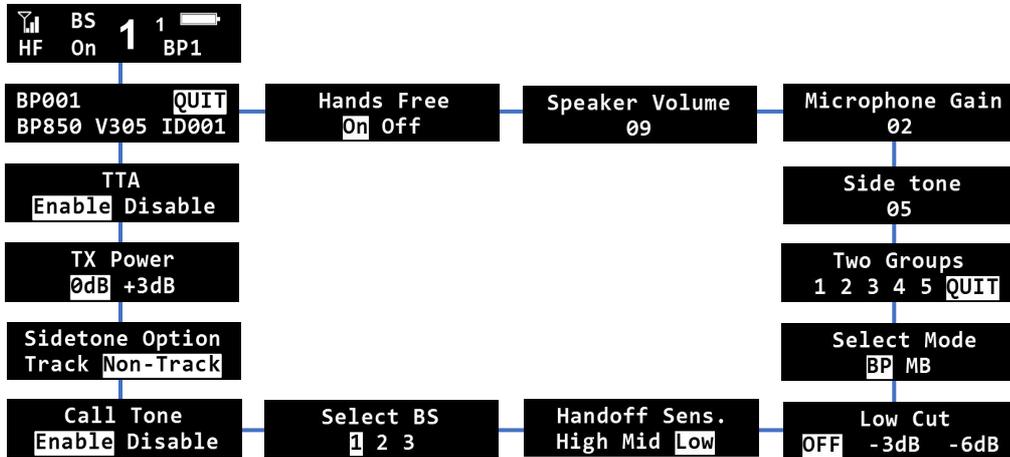
バッテリーレベルが低くなっています。

• ベルトパックの操作ロック

△、▽、PWR、TALK以外のボタン操作をロックすることができます。
 ロックをするには、PWRボタンをホールドし、すぐにGRPボタンをタップします。
 (ディスプレイ右下に“LOCK”と表示されます。)
 ロックを解除するときは、再びPWRボタンをホールドし、すぐにGRPボタンをタップします。
 (ディスプレイ右下にベルトパックのラベルが表示されます。)

• メインメニューの操作

ディスプレイにノーマルメニューが表示されている状態でSETボタンをタップすると下記のメインメニューが表示されます。
 メインメニューの構成は以下の通りです。各メニューは△▽ボタンで切り替わります。



設定を行いたい画面でSETボタンをタップすると△▽ボタンで値を変更できます。変更した値を決定するときは再度SETボタンをタップします。
 メインメニュー操作中はPWRボタンをタップするとノーマルメニューに戻ります。

• Main Menu (メインメニュー)



- (A) ベルトパックのラベルを表示します。
- (B) ベルトパックのモデル名、ファームウェアバージョン、ID (ベースステーションが認識しているベルトパックの番号) を表示します。

- Hands Free (ハンズフリー)

Hands Free
On Off

TALKボタンの動作を設定します。ハンズフリーモードの設定にかかわらずTALKボタンは押している間だけトーク状態が維持されます (プッシュ・トゥ・トーク)。

ハンズフリーモードを“On”に設定するとTALKボタンをタップすることによりトーク状態をロックすることができます (ハンズフリーモード)。TALKボタンをもう一度タップするとロック解除されます。

- Speaker Volume (スピーカーボリューム)

Speaker Volume
09

ヘッドセットのスピーカーボリュームを00~10の値で設定します。

最大音量で“Maximum (マキシマム)」、最小音量で“Minimum (ミニマム)”と音声メッセージが流れます。Speaker Volumeはノーマルメニュー画面で△▽ボタンを使って設定することもできます。

- Microphone Gain (マイクゲイン)

Microphone Gain
02

ヘッドセットのマイクゲインを01~08の値で設定します。

最大音量で“Maximum”、最小音量で“Minimum”と音声メッセージが流れます。

- Side tone (サイドトーン)

Side tone
05

サイドトーンレベルを00~08の値で設定します。

最大音量で“Maximum”、最小音量で“Minimum”と音声メッセージが流れます。

• Two Groups (2グループモード)



Two Groupsモードでは選択された2つのグループを同時にリッスンすることができます。1st GRP（若番グループ）へのトークはTALKボタン、2nd GRP（老番グループ）へのトークはGRPボタンを使用します。また、2つのグループへ同時にトークすることも可能です。

Two Groupsモードを設定するときは、設定したいグループにカーソルを合わせてSETボタンをタップし、2つのグループを選択した後にQUIT にカーソルを合わせてSETボタンをタップします。

Two Groupsモードを解除するときは、選択されているグループを解除した後にQUITにカーソルを合わせてSETボタンをタップします。

Two GroupsモードでのLED表示は次の通りです。

緑色で点滅

リッスンのみを行っています。

緑色で点灯

1st GRP（若番グループ）にトークしています。

オレンジ色で点灯

2nd GRP（老番グループ）にトークしています。

オレンジ色で点滅

1st GRP、2nd GRP両方にトークしています。

Two Groups モードでは常時、選択された2つのグループを同時にリッスンします。

Two Groups モード動作時は、Speaker Volumeメニューにて1st GRP、2nd GRPのレベルを個別に調整することができます。



Normalメニューで△▽ボタンを操作すると、レベル差を保ったまま2つのグループのレベルを同時に操作することができます。

- Select Mode (セレクトモード)



マスターベルトパックモードの設定をします。

このメニューでMBに設定したベルトパックは、ベースステーションがない環境でもモバイルステーションのように動作をし、他のベルトパックと通信ができるようになります。

通信ができるのは同じベースステーションでペアリングがされたベルトパック同士となり、Select BSメニューでも同じベースステーションを選択しておく必要があります。

このメニューでモードの変更を行うと自動的に電源が切れます。マスターベルトパックは電源を入れるたびにDFS Detectingを60秒行い、起動後はノーマルメニューの右下に“MB”と表示されます。



MBに設定されたベルトパックはTwo Groups、Handoff Sens、Select BS、Call Tone、TTAメニューは表示されません。

マスターベルトパックモードでの同時通話数の合計はMBを含め5台、通信グループは1です。

- Low Cut (ローカット)



ヘッドセットマイクのローカット (ハイパスフィルター) を設定します。

- Handoff Sens. (ハンドオフセンス)



ベースステーション/リモートアンテナ/リピーターのカバーエリアを自動で切り替える感度を変更します。カバーエリアが近接している場合、エリア間での切り替えをスムーズにするためには、“High”もしくは“Mid”を選択してください。

- Select BS (セレクトBS)



通信を行うベースステーションを変更します。通信を行うときは白いブロックの番号からいずれか一つを選択してください。

ベルトパックはペアリング先のベースステーションを3台まで登録でき、ペアリングを行うと番号が白いブロックに変化します。

- Call Tone (コールトーン)



コールトーンのオン/オフ設定を行います。“Disable”に設定するとコールトーン機能が無効になります。

- Sidetone Option (サイドトーンオプション)



サイドトーンのオプションを設定します。

Track

サイドトーンはマスターボリュームの設定に従って変化します。

Non-track

サイドトーンはマスターボリュームの設定にかかわらず、サイドトーンメニューで設定した値に固定されます。

- TX Power (TXパワー)



ベルトパックの送信電力を2段階で設定します。“+3dB”で最大の出力に設定されます。ベルトパックの“+3dB”はベースステーションの0に相当する設定で認証されている最大値です。ベースステーションのTXパワーの設定については「GCM 操作マニュアル」をご確認ください。

- TTA (トークトゥオール)



TTA の設定を行います。

Enable

TTAが有効になります。

トークキーを2秒以上ホールドするとTTAがオンになり、ベルトパックに割り当てられた全てのグループへ同時にトークします。トークキーを離すとTTAがオフになります。

TTA中はLEDが赤く点灯します。

TTAを有効にするとHands Freeメニューの設定にかかわらず通常のトークはハンズフリーモードでの動作となります。

TTAはTwo Groupsモードでも動作します。

Disable

TTAが無効になります。

● バッテリー充電器

BATCHG125

バッテリーを装着した状態の子機をそのまま充電可能な 5 つのポートと、充電式バッテリー（BAT50）専用の 2 つのポートを備えた充電器です。

使い切った状態から 4～4.5 時間でフル充電されます。

BATCHG225

バッテリーのみを充電可能なポートを 8 つ備えた充電器です。

左側のスレッドには充電済みのバッテリーを保管できるようになっています。

故障の原因となりますので、充電を行う際は必ずベルトパックの電源を切ってください。

・充電器の LED 表示について

 CHARGING LED（充電 LED）

赤色で点灯

充電しています。

赤色で点滅

充電に失敗しています。

緑色で点灯

充電が完了しています。

 SENSING LED（検出 LED）

黄色で点灯

バッテリーが挿入されていません。

黄色で点滅

バッテリーの温度が高くなっているため充電を停止しています。

各充電ポートの隣にある SENSING LED はポートが空の間、黄色く点灯しています。

各ポートにベルトパック、またはバッテリーが正しく挿入されると、該当するポートの SENSING LED が消灯し、CHARGING LED が赤く点灯します。

バッテリーが挿入された状態で SENSING LED が黄色で点滅しているときはバッテリーの温度が高くなっていますので、充電器からバッテリーを取り出して冷却してください。

（SENSING LED が黄色で点滅すると、自動的に充電を終了します。バッテリーを取り外すまで、LED は点滅し続けます。）

充電が完了すると、CHARGING LED が緑色に点灯します。